

コンサート・レビュー
Concert
Preview

青澤唯夫
伊熊よし子
萩谷由喜子の
今月の演奏会お薦めはこれ！

お薦めのリサイタル

青澤 やっぱり今月はレイフ・オヴ
エ・アンズネス。一押し！

伊熊 新譜でアンズネスのアンコール
集が出たんですよ。単なるアンコール
集ではなくて、こだわりがあり、聴き
ごたえもあります。今回のリサイタル
でも、その聴きごたえのあるアンコー
ルを聴かせてくれることでしょう。ヨ
ーロッパでもアメリカでも人気が高
くて、新聞評などでも巨匠の演奏と書か
れているのですが、日本ではなぜか
人気を追いつかない。

萩谷 とても気品のあるピアニストで
すが、演奏にアクロバティックな派手
さがないせいでしょうか。ノーブルす
ぎるというか……。

伊熊 デビュー当時からすごく不思議
な人のひとりですよ。

青澤 グリーグとか、シベリウスだと、
日本では館野泉さんが高い人気をもつ
ているけれど、アンズネスも少年のこ
ろからグリーグに本格的に取り組ん
できて、国際的に高い評価を受けている。

萩谷 今年はグリーグの没後100年、
シベリウスの没後50年と（北歐イヤー）
ですから、北歐の作品を得意とするア
ンズネスにも光があたりそうですね。

青澤 シベリウスは晩年に高性能のラ
ジオを山荘に設置していて、世界中の
放送で、自分の作品が演奏されるのを
楽しみに聴いていたそうですね。近衛
秀磨さんがミュンヘンで指揮した交響
曲第2番の演奏を聴いて、深く感心し
て面会を求めたとか。他にも渡邊暁雄
さんなど、シベリウスの得意な指揮者
がいましたね。日本人が北歐の音楽を
好む素地は昔からあったと思います。

伊熊 アンズネスは、正統派なんです
よ。大器晩成型だと思う。若いときは
ルックスや、派手な弾き方の人のほう
がもてはやされることもあるけれど、
年を重ねていくごとに、彼の真価が評
価されて、定着していくように思いま
す。

青澤 アンズネスは、目立ったコンク
ール歴がないのも、人気を追いつかな
い理由のひとつかもしれない。しかし、
美人コンテストに出たことがないけれ
ども、魅力的な人はたくさんいるわけ

で（笑）、コンクールの入賞歴は現在
の実力とはあまり関係ない。

伊熊 アンズネスって若いときに苦勞
しているんですよ。あがり性だったし、
シャイで、自分の性格もよくわかって
いて、スターというタイプではないと
いったところも……。だから、音楽で
勝負するんだと言っていました。その
スタイルを崩さないでほしい。

萩谷 そう、自分を演出することで、
目を惹きつける必要のない人ですね。
顔で完っつてはいないけれど、すてきな
顔だし。

伊熊 最近では、アルマーニなどのブ
ランドにも招かれて、弾いたりもする
ようです。

萩谷 何もしなくてもスタイリッシュ
な人で、演奏もそうですね。

青澤 それから、ロジェ・ムラロ。イ
ヴォンヌ・ロリオ先生の弟子で、86年
のチャイコフスキー・コンクールで1
位を取った人です。わりと若いころか
ら注目されていますね。メシアンやラ
ヴェルが得意で、シャープで神経の細
かい演奏が聴きものかな。

伊熊 ムラロは海外でも話題となつて
いますね。東京でのリストやアルベニ
ス他、武蔵野でのメシアンも楽しみで
すが、武蔵野はすでに完売のようです。

青澤 川崎智子さんがショパン協会の
例会でショパンやリヤードフ、メトネ
ルを入れたプログラムでのリサイタル
をおこないます。モスクワ音楽院のヴ

オスクレセンスキーさんのお弟子さん
です。あと、王子賞受賞披露演奏会に
は前山仁美さん、恩田佳奈さん、鈴木
美祐さん、水谷桃子さんと若手4人が
出ます。前山さんは注目すべき新進で
す。

萩谷 4人とも今回王子賞を取った人
ですね。

青澤 『若き音楽家たちとホロヴィッツ
ピアノによるコンサート』（スタイン
ウェイジャパン創立10周年記念）に出
演する塚本聖子さんも、若手ですが、
なかなかしっかりした良い演奏をしま
すよ。このピアノ、ホロヴィッツが使
っていたピアノ（314503）を日
本に持ってきたんです。僕も去年9月
に触ってみました。

萩谷 どんなピアノでしたか？

青澤 軽いタッチで敏感に反応するん
ですよ。ホロヴィッツは好みで鍵盤の
重さを42グラムに調整していたそう
です。でも、ホロヴィッツが亡くなった
あと、ハンマーなどを交換してしまっ
たみたいで、彼が愛用していた時代の
感触は残っていないようでした。スタ
インウェイらしい、いい音はしますが。

お薦めのアンサンブル

伊熊 アンドレア・ルケシーニが久し
ぶりに来ます。チェロのマリオ・ブル
ネロと一緒に。

青澤 これは楽しみ。ブルネロはイタ